

| | | | |
|------|---|-----|-------------------|
| 取組名 | 科学大好き岡山クラブ 岡山大学教室 「塩水モーター実験」 | | |
| 担当部門 | 科学大好き岡山クラブ 岡山大学教室 (取組担当教員：味野 道信) | | |
| 開催期間 | 平成 21 年 8 月 24 日 (月) 10 : 30 ~ 11 : 30 | 開催地 | 岡山大学理学部 11 講義室 |

《概要》

科学大好き岡山クラブ岡山大学教室として、学内の学童保育施設「かいのき児童クラブ」へ体験学習を提供した。この「塩水モーター実験」は、平成 21 年 8 月 7 日付けの地元紙・山陽新聞こども向け紙面 (14 面) に掲載された内容で、執筆者である味野自ら児童たちに実演と指導を行った。補助学生 1 名と事務職員 2 名、学童保育施設教員 4 名が児童らの補助に当たり、はさみを使った器具の工作の手伝い、個々の質問への対応を行った。

「かいのき児童クラブ」への出前教室は平成 21 年 7 月 22 日に行った「日食観測会」に続いて二回目で、児童らは通常の「科学大好き岡山クラブ」の活動に対しても興味を抱いたようである。なお、今回の体験学習終了後にクラブの合同開催等の告知を行い、広報を家庭に持ち帰ってもらった。

《参加者》

対象：「かいのき児童クラブ」所属の小学校 2 年生～6 年生までの児童 30 人・教員 4 人

教員：味野 道信 (岡山大学大学院自然科学研究科・准教授)

補助学生： 岡山大学大学院自然科学研究科数理物理学専攻 1 名

事務職員 (補助)： 「科学 Try アンクル岡山」 職員 大山 明子、堀家 圭子



《報告事項》

紙コップ・磁石・アルミ箔カップ・電池・ゼムクリップ・ビニールコード・塩を材料にした手作り器材を用い、紙コップの中の塩水が回転して流れるモーターを作った。台所にある材料を使った実験で、児童らは電磁石の不思議を体感した。

紙コップの底をわずかに残して切るやや難易度の高い工作や、疑問に思ったことをすぐに尋ねられる教員や補助員を通して、児童らの関心を大いに惹き付けることが出来た。

